

「原鉄道模型博物館」からのご案内
フォトウィーク入選作品の発表及び展示会のご案内
原信太郎館長が「蔵前特別賞」を受賞いたしました
クリスマスイルミネーションを実施いたします

フォトウィーク入選作品の発表・展示会

原鉄道模型博物館は、2012年10月1日（月）～14日（日）に「いちばんテツモパークフォトウィーク」を開催いたしました。期間中は、普段写真撮影ができない「いちばんテツモパーク」を自由に撮影していただき、8歳から77歳まで、幅広い方々からたくさんの写真をご応募いただきました。ありがとうございました。

ご応募いただいた写真の中から、優秀作品3点および入選作品21点の受賞が決定し、受賞者には粗品を進呈しました。

受賞作品の発表は、本博物館内およびHP（<http://www.hara-mrm.com>）にて、11月7日（水）～12月3日（月）（予定）に行なっています。

普段と違った魅力が伝わる素晴らしい写真が多数ございますので、是非ご覧ください。

優秀作品（あいうえお順）

横浜市 鎌田様 「旅立ち」

横浜市 二宮様 「鉄道のある景色」

川崎市 た一さん様 「駅で」

他、入選作品21点



【優秀作品】横浜市 鎌田様「旅立ち」



【優秀作品】横浜市 二宮様「鉄道のある風景」



【優秀作品】川崎市 た一さん様「駅で」

原信太郎館長が「蔵前特別賞」を受賞いたしました

「蔵前特別賞」とは、原信太郎氏が卒業した東京工業大学の同窓会である「一般社団法人蔵前工業会」が、科学技術および産業の進歩発展を支援する活動の一環として2009年度から設置したもので、産業界または社会に顕著に貢献した個人および企業を表彰するものです。

原館長の「原鉄道模型博物館」活動に対する褒章であり、受賞理由は、原氏の精緻・精巧な鉄道模型は実物の鉄道技術を模型に搭載・再現したものととして注目されること、本博物館は世界各国の鉄道模型を展示・走行しており、「技術は世界を一つにする」という原氏の理念を伝えるものであること、また、人々にものづくりの楽しさを伝えるとともに、産業文化史を物語る貴重なものであることが挙げられています。

授与式および記念講演会が、2012年11月26日（月）17:00から「東工大蔵前会館くらまえホール（東急大岡山駅前）」で開催されます。当日は、原館長も出席予定です。

※授与式および記念講演会につきましては、

蔵前ベンチャー相談室 kvs@kuramae-kvs.ne.jp へメールで直接お申込みください。

クリスマスイルミネーションを実施いたします

2012年11月7日（水）～12月24日（月）の間（毎週火曜日の休館日を除く）、「暖かなクリスマスを祈って、小さな贈り物を」をコンセプトに、エントランスや世界最大級*のジオラマ「いちばんテツモパーク」で、クリスマス装飾を実施いたします。

本博物館からお客様への小さなプレゼントです。心温まる装飾をお楽しみください。



「原鉄道模型博物館」は2012年7月10日に開館し、開館後約2ヵ月で来館者数10万人を達成いたしました。本博物館は世界的に著名な鉄道模型製作・収集家の原信太郎氏（93）のコレクションから選りすぐりの鉄道模型約1000輛を展示・走行させています。本博物館の目玉は、世界最大級*のジオラマ「いちばんテツモパーク」で、架線からパンタグラフで電気をとった鉄道模型が、鉄のレールの上を鉄の車輪で本物さながらの姿と音で走行します。鉄道ファンの方からファミリー・シニアの方まで幅広いお客様にご来館いただいています。

※一般公開されている一番ゲージ（縮尺約1/32）の室内ジオラマとして世界最大級

この資料は、次の記者クラブに配布しています。

○横浜市政記者クラブ ○横浜経済記者クラブ

本件に関するお問い合わせ先
原鉄道模型博物館 045-640-6699